



# 9月1日は防災の日 ～災害対策をしましょう～

問総務課 ☎51-6703

災害による被害をできるだけ少なくするためには、まずは一人一人が自分の身の安全を守ることが基本です。また、災害時のために水や食料などの備えも必要です。

8月～10月は台風や大雨の多い時期であり、災害が発生する恐れが高くなることから、事前に家庭での備えを確認し、災害発生時には、防災ラジオの情報やテレビの報道などに注意し、命を守る行動を取りましょう。

## 災害への備えをチェックしてみましょう

### 家庭での備え

- ローリングストック※で常に新しい食品を備蓄しましょう。  
※日常的に食べているレトルト食品などを少し多めにそろえ、消費した分を買い足す備蓄方法
- 室内の安全性を高め、けがを防ぎましょう。  
《例》地震の際に転倒・落下の恐れがある家具や電化製品を固定する、高い所に物を置かないなど
- 災害の危険がある場所や、自宅・学校・職場などからの最寄りの避難所と避難経路を確認しておきましょう。  
《確認方法》ハザードマップ、市ホームページなど
- 停電時でも情報を得られるように備えましょう。  
《例》停電時はテレビなどから情報が得られなくなるため、ラジオを常備しておくなど



### 備蓄しておく物

- 懐中電灯
- ラジオ
- 電池
- ろうそく
- 簡易ガスコンロ
- 使い捨てカイロ
- 食料と1人1日3リットルの飲料水（3日分を目安に）

※年齢や性別、持病やアレルギーの有無などに応じて、日頃から家庭で使っている物を考慮し、それぞれの人に必要な物を備蓄しておくようにしましょう。

### 非常時の持ち出し品の確認

- 災害の発生や避難する際に備え、家族構成や各家庭の事情に合わせて普段から非常時の持ち出し品を準備しましょう。
- 非常時に慌てて探すことがないように、持ち出し品は玄関など目に付く場所に置きましょう。



### 災害が発生したときの行動

- ▶慌てずに、まずは自分の身を守る行動を取りましょう。
- ▶防災ラジオやテレビなどから最新の情報を入手しましょう。
- ▶避難時には、火の始末を確認し、ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを切り、落ち着いて行動しましょう。

### 避難するときに持って行く物

- 貴重品…現金、印鑑、保険証、預金通帳、その他本人確認ができる物
- 衣類・洗面道具…下着、靴下、防寒具、眼鏡、洗面道具、タオル、せっけん、シャンプー、生理用品、紙おむつなど
- 水・食料品…飲料水、非常食、粉ミルクなど
- その他…懐中電灯、携帯ラジオ、電池、軍手、ライター・マッチ、ティッシュペーパー、使い捨てカイロ、雨具、救急医療品、お薬手帳、常用薬など